

農林水産大臣賞・県知事賞を受賞

循環型飼料の推進・利用などの取り組みが評価され、「ながさき農林業大賞」の最高賞である、農林水産大臣賞・県知事賞に、以下の団体が輝きました。おめでとうございます。

- 受賞団体…農事組合法人 花房牧場（加津佐町）



いつまでもつながる心と心

心のふるさと交流事業として8月21日から25日の日程で、市内中学生24人を宮城県南三陸町へ派遣しました。

9月19日、参加した生徒のうち9人がその成果を松本市長へ報告しました。生徒それぞれが感想を述べ、菅心之輔さんは、「心のふるさと交流事業に参加して、命の尊さを理解できました。学習だけで終わらず、周りに伝え、事業で学んだことを広げていきたい」と話しました。



三又さん家のポチが長寿犬表彰

県南保健所で開催された「動物愛護フェスティバル in 島原2018」の長寿犬表彰で、有家町在住の三又嘉二さんの飼い犬ポチ（19歳：人間に換算するとおおよそ94歳！）が長寿犬として表彰されました。

受賞おめでとうございます。これからも、仲良く共にお過ごしください。

民謡民舞県連合大会で総合優勝

日本民謡協会などが主催する「日本民謡民舞県連合大会」で近藤恵子さん（西有家町）が総合優勝を果たし、来年12月に東京で開催される全国大会への切符を手に入れました。おめでとうございます。



目指せ全国制覇！出場選手を激励

9月19日、第73回国民体育大会と第18回全国障害者スポーツ大会に出場する南島原市選手団の壮行会を開催しました。

出場選手紹介のあと、松本市長が選手を激励しました。選手を代表して森北詩音さんは、「応援してくれた家族や地域の人たちのおかげでここまですることができました。南島原市が元気になれるように頑張りたい」と話しました。



災害時相互応援協定を締結しました（南島原市民生委員児童委員協議会）

長崎、熊本、鹿児島3県7市町の民生委員児童委員協議会が9月8日、熊本県天草市で災害時相互応援協定を締結しました。

協定を結んだのは南島原市、島原市、熊本県天草市、上天草市、苓北町、益城町、鹿児島県長島町で、有明海や県境を越えた災害時の相互支援について取り決めました。

今回の協定で、災害救助法が適用される大規模災害時に民生委員・児童委員の応援要員の派遣がより円滑にできるようになりました。



ヤフオクドームで南島原をPR

原城跡の世界遺産登録を記念し、9月9日、ヤフオクドームで南島原市のPRを実施しました。満員となった球場ではビジョンを使った「原城跡」「島原手延そうめん」のPR映像放映の他、パンフレットや島原手延そうめんの無料配布などを行いました。

また、試合開始前には、ソフトバンクホークスの工藤監督へ「島原手延そうめん」を贈呈し、激励しました。

「まちの話題」では、市内の行事や出来事を紹介しています。紙面の都合上、広報南島原に掲載できなかった話題や写真は南島原市ホームページの「まちの話題WEB版」に掲載しています。ぜひご覧ください。

Focus in 南島原 まちの話題



普賢岳災害を後世に伝える

今から27年前の雲仙普賢岳災害は、島原半島に甚大な被害をもたらしました。大野木場小学校では、毎年、噴火災害の記憶を語り継ぐためにメモリアルデーを開催しています。

「災害学習で学んだこと」と題した5年生児童による発表や、噴火当時、同校に勤務していた下田恭子さんが噴火当時の様子などを話しました。宮田ゆかりさん（6年生）は「あらためて噴火災害の怖ろしさと復興の大変さを学びました。いつ何が起こるか分からないからこそ、過去の噴火災害や防災についてしっかり学び、未来につなげていきます」と述べました。

集会の最後には、火砕流の被災を乗り越えたイチヨウの木をテーマにした歌「生きていたんだね」を全校児童で合唱し、噴火災害の記憶を心にきざみ、後世に伝えることを誓いました。



和牛共進会で1等入賞

9月6日に開催された、「平成30年度 島原雲仙農協・3市和牛共進会」で、大久保和仁さん（口之津町）が出品された「みやび号」が「経産牛部門」で1等に輝きました。

また、10月4日に開催された「第7回県南地域和牛能力共進会」では、銅賞を受賞しました。おめでとうございます。